

瀧本委員（民主県政会）

平成 25 年 3 月 11 日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）全国大会の誘致に向けた取組状況について

競技レベルの高い、スポーツの国際大会・全国大会が県内で開催されれば、県民はじかに試合や選手に接することができ、県民のスポーツへの理解を深め、スポーツへ参加する機会の拡大が期待される。さらに、定期開催される大会であれば、一過性の大会よりも、スポーツ振興や経済と地域の活性化への影響はより大きい。

昨年2月定例会において、私は、定期的で開催される全国規模のスポーツ大会の本県への誘致の状況と今後の取組について質問したが、これに対して、全国規模のスポーツ大会の開催の重要性を認めた上で、定期的で開催される全国規模のスポーツ大会の誘致について、今後、競技団体等との連携を図り、実現の可能性やその方策等について検討して参りたい、との答弁があった。

そこで、その後の、競技団体等との連携、誘致の実現可能性やその方策についての検討状況、さらに、今後の取組について、教育長に伺う。

（答）

全国規模のスポーツ大会の誘致につきましては、その主体となる競技団体等を通じて情報を収集し、中央競技団体への働きかけを行うとともに、必要となる会場の確保、競技用具の整備などを行っているところでございます。

こうした中、本年度は、体操競技ロンドンオリンピック報告演技会の本県開催が実現し、来年度、全国小学生柔道大会が初めて本県で開催されることとなっているところでございます。

新たな全国規模のスポーツ大会の開催につきましては、既存の大会との棲み分けや、運営経費や運営体制の確保などの課題について、競技団体等と連携を図っているところであり、実現の可能性について、引き続き検討して参りたいと考えております。